

第8回新嵐山スカイパーク経営改革

調査特別委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和5年12月1日（金曜）		午後1時30分 開会	
	休 憩 13:35-14:45			
	午後3時09分 閉会			
	休憩時間：1時間10分		会議時間： 0時間29分	
会 議 場 所	役場3階委員会室			
出 席 委 員 氏 名	委員長 鈴木 健充	委 員 立川 美穂	委 員 木村 淳彦	
	副委員長 正村紀美子	委 員 渡辺洋一郎	委 員 伊藤 稔	
	委 員 西尾 一則	委 員 堀切 忠	委 員 菊池 秀明	
	委 員 常通 直人	委 員 中田智恵子		
	委 員 早苗 豊	委 員 小笠原 等	議 長 梶澤 幸治	
欠 席 委 員 氏 名	委 員 橋本 和仁			
	委 員 中村 和宏			
説 明 等 に 出 席 し た 者 の 氏 名				
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係長 竹川 恭史	総務係主査 上田瑞紀	
『会議に付した事件と会議結果など』				
1 開 会				
・委員長が開会を告げ、中村委員及び橋本委員が欠席の旨を報告し、事務局から本日の委員会の日程を説明する。				
2 議 件				
(1) 調査事項				
ア 新嵐山スカイパークの今後について 資料1				
・事務局長：本日の委員会は、先日開催した「第2回モニター会議」の結果を踏まえて、今年度の新嵐山の施設利用（令和6年1月～3月の利用方法と所要予算）について、議会の考え方を確定させることを目的としたい。意見・質疑はないか？				
・（意見・質疑なし）				
・委員長：ここで議員間討議を行うので、14時45分まで休憩とする。				
<休憩>				
・委員長：休憩を取り消し、委員会を再開する。各グループから討議結果を発表していただく。				
・常通委員（Aグループ発表）：予算をかけずに、スキー場をスノーフィールドとして開放してはいかがかという意見があった。一方、安全確保の面から一定の監視				

機能は必要であり、リスクを懸念する声があった。まとめとしては、予算をかけずに活用する手法が望ましいということになった。

- ・菊池委員（Bグループ発表）：トイレ、休憩所は必要となる。それには、一定の人件費、重機、燃料等々が必要となり、概算で300万円程度は最低かかると試算した。イベントのような一過性の活用も選択肢となるのではないかということになった。
- ・中田委員（Cグループ発表）：活用するには一定の経費は必要となる。ただし概算経費を出す知識は、議会にはなく困難である。モニター会議の意見を踏まえると、週末だけの開放やイベント企画等の活用も出されていた。
- ・委員長：各グループの発表を踏まえて、今年度（令和6年1月～3月）の運営について、意見を求めたい。
- ・早苗委員：Bグループで出された300万円の根拠は？
- ・木村委員：人件費、重機代、燃料費及び公共施設に係る事故補償の保険料等を加味したもの。
- ・早苗委員：Aグループの討議でも、根拠は明確でないものの1千万円くらいはかかるのではという話はあった。
- ・常通委員：Aグループでは、施設（宿舎、やすもつと、駐車場）を開放しない前提で可能な範囲での活用を考えたところである。
- ・立川委員：これまでの住民意見（町民活動支援センター）を踏まえると、新嵐山への熱量が下がってきている懸念の声もあり、モニター会議でも、何らかの方法で閉鎖状態を避けるような意見があったことから、その手法を模索したいと考える。
- ・早苗委員：「最低限の利用」として討議してきた。その際に、これまでは宿舎（管理機能）があったから来場者があったが、果たして、自然開放することで人が来るのかという課題もAグループで出された意見であることを紹介したい。
- ・委員長：本日は、議会の意見をひとつにまとめることが目的でなく、モニター会議を踏まえて議会として、議員として、どのように感じるかの意見を集約するものである。次回の委員会に向けて、改めて整理していきたい。意見はないか？
- ・常通委員：1月下旬以降の町の方向性について、今後の調査の予定は？
- ・委員長：次回委員会（12月7日）で、調査することになる。他にないか？
- ・（意見なし）

3 その他

（1）次回委員会の開催日程について

- ・委員長：12月7日（木）午前9時30分～

（2）その他

- ・委員長：その他で各委員からないか？
- ・（なし）
- ・委員長：議長からないか？
- ・（なし）

- ・委員長：事務局からないか？
- ・(なし)

以上をもって委員会を閉会する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	2名	議員	0名	合計	2名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和5年12月1日

新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会
委員長 鈴木 健 充